

(件名)

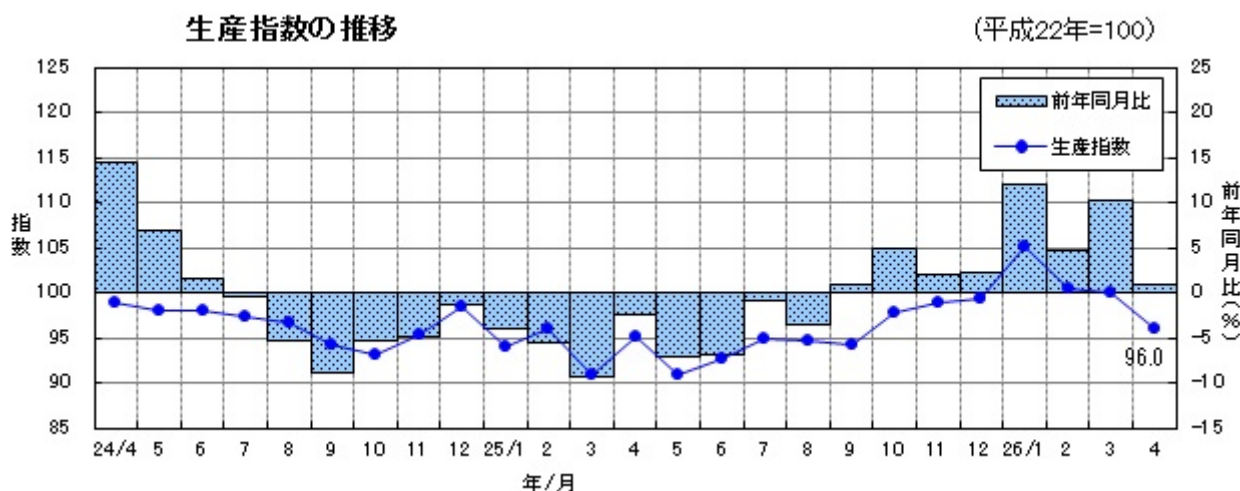
# 駆け込み需要の反動減が見られるも、生産は前年同月比8か月連続上昇 (静岡県鉱工業指数 平成26年4月分速報)

## 1 生産指数の動き

4月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**96.0**となり、**前月比は4.0%減と3か月連続して低下した。**

また、**前年同月比(原指数)は0.9%増と8か月連続して前年を上回った。**

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、その他製品、非鉄金属等が上昇する一方、輸送機械、電気機械、化学等が低下した。

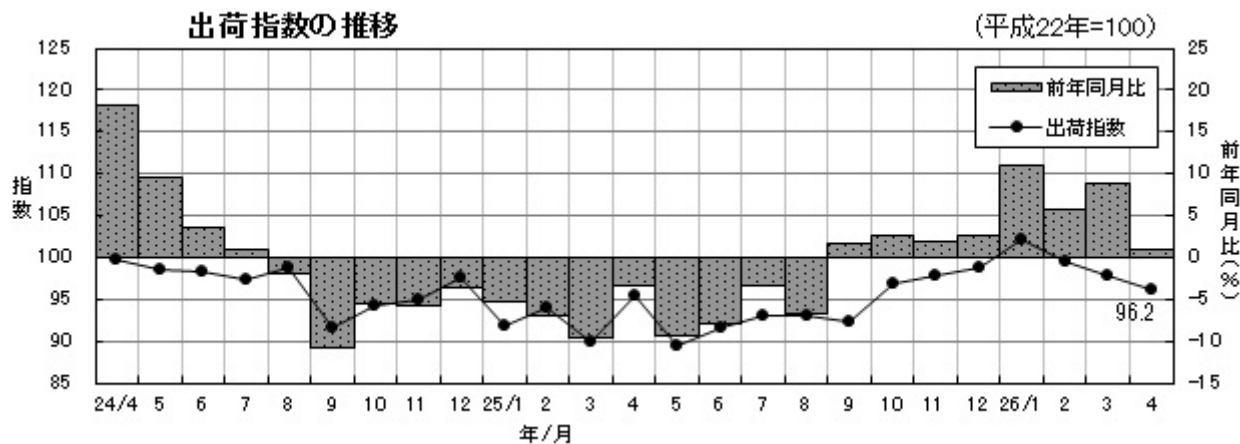


## 2 出荷指数の動き

4月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**96.2**となり、**前月比は1.6%減と3か月連続して低下した。**

また、**前年同月比(原指数)は0.9%増と8か月連続して前年を上回った。**

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、その他製品、窯業・土石製品等が上昇する一方、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学等が低下した。

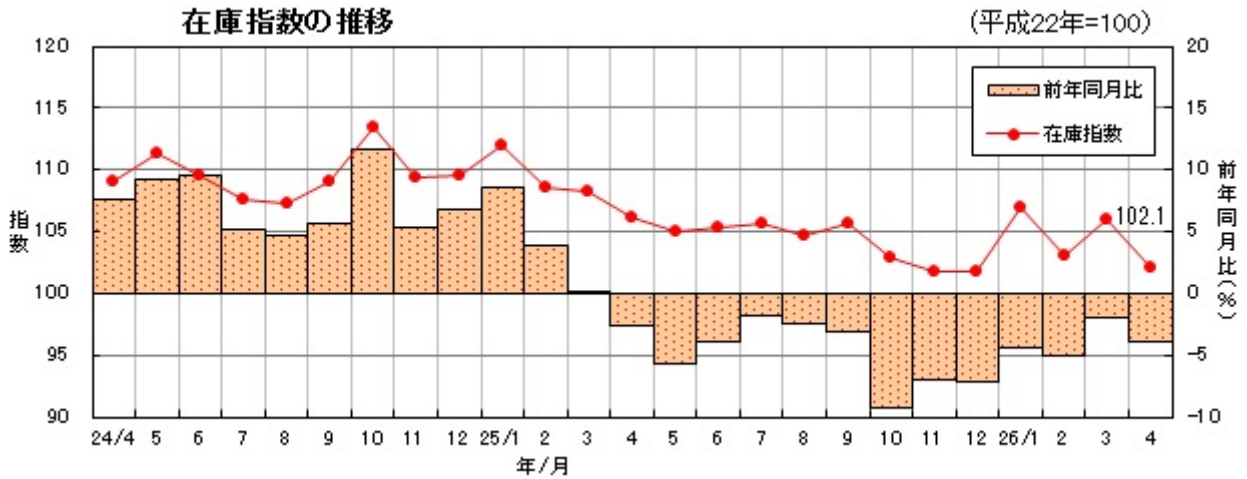


### 3 在庫指数の動き

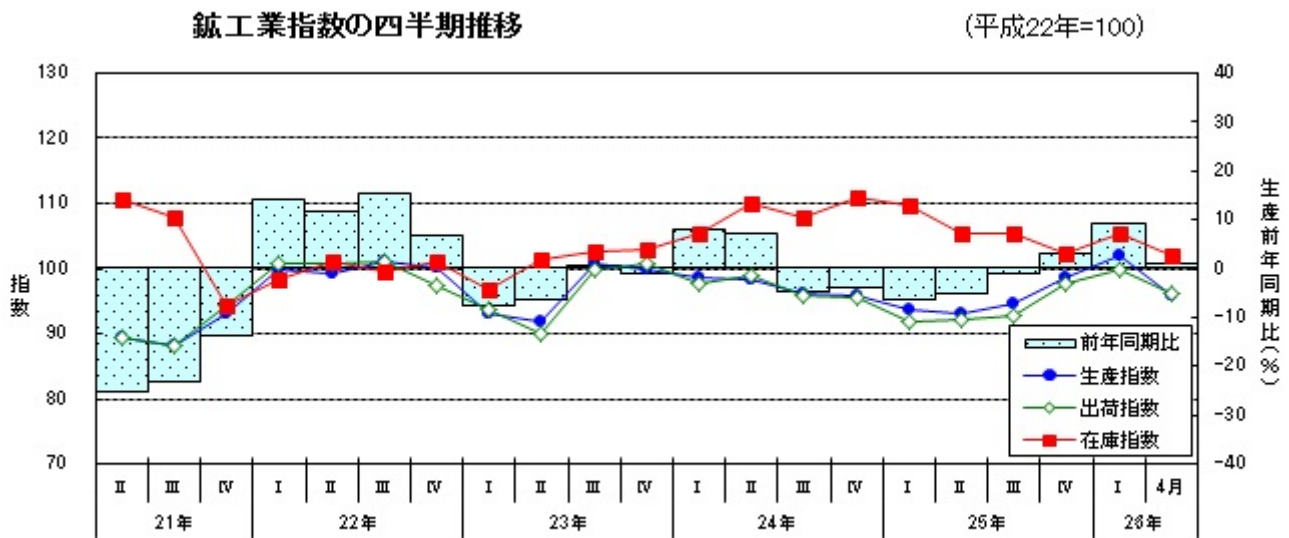
4月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は102.1となり、前月比は3.7%減と2か月ぶりに低下した。

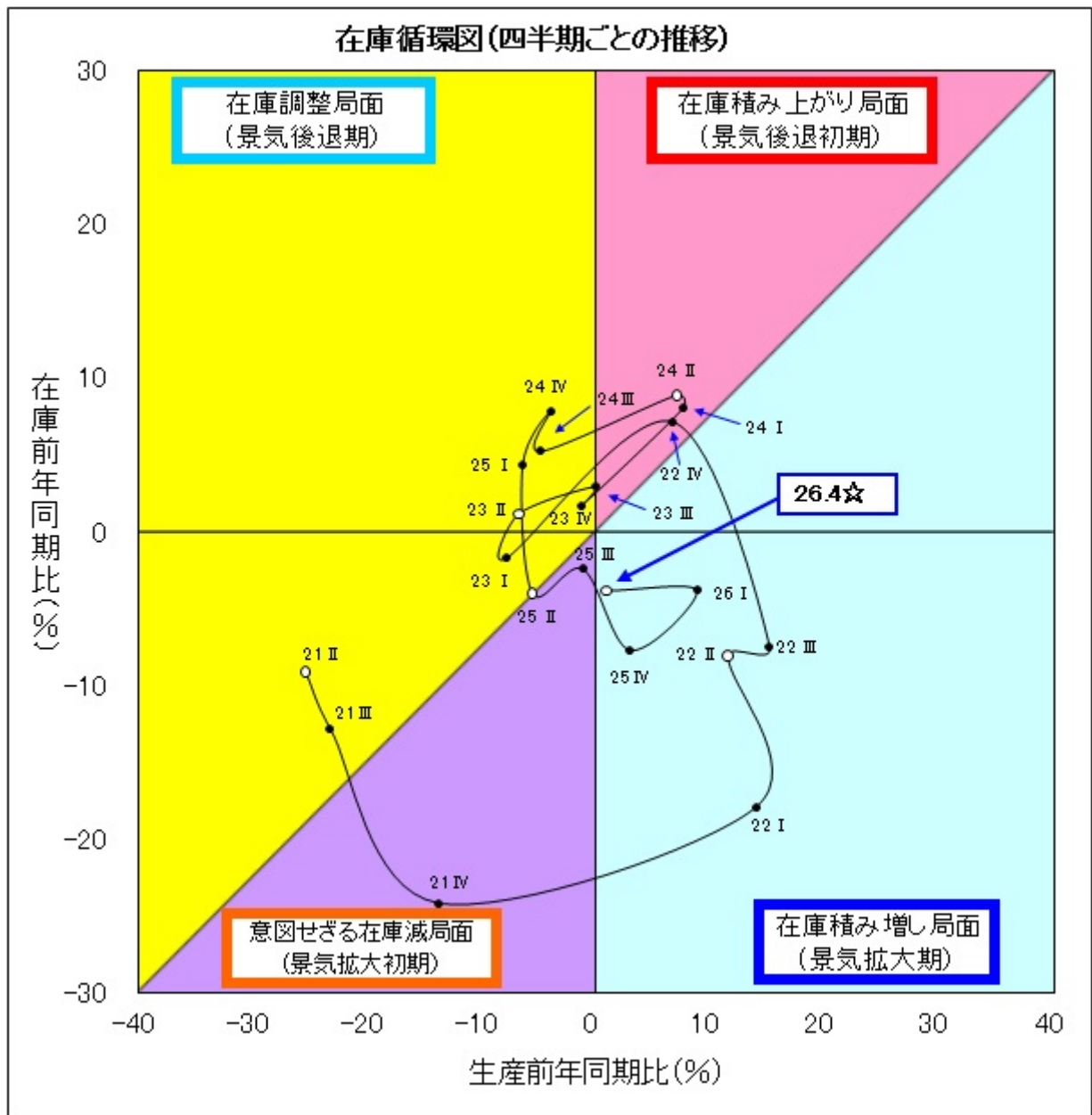
また、前年同月比（原指数）は3.9%減と13か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、非鉄金属、食料品・たばこ、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、輸送機械、化学、その他製品等が低下した。



#### <参考1> 四半期推移及び在庫循環図





☆ 在庫積み増し局面 (景気拡大期) ← 今季はここに該当

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

・ 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

・ 在庫調整局面 (景気後退期)

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。

・ 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。